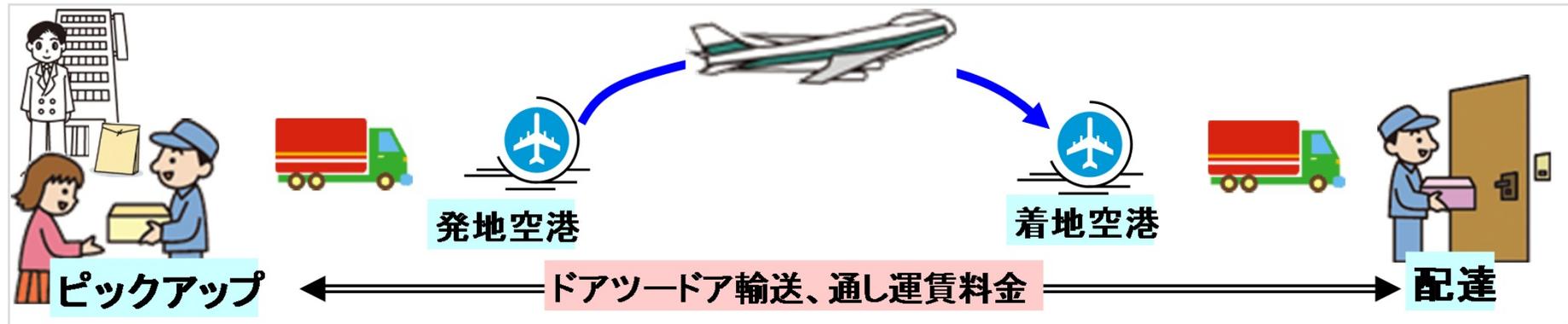


国際宅配便

国際宅配便とは	国際宅配便とは
	国際宅配便の特徴
	ハブ・アンド・スポーク・システム
	インテグレーターとは
航空貨物と国際宅配便の関係	国際宅配便会社の自社機による輸送、一般の定期便の利用、国際宅配便会社と航空会社間の競合
	国際貨物輸送市場の住み分けと競合
主要な国際宅配便会社	UPS, FedEx, DHL, TNTの歴史
	UPS, FedEx, DHL, TNTの現状と動向

国際宅配便とは



国際宅配便とは： 書類や小口・小型貨物をドアツードアで輸送するサービス
ドアツードアの包括料金となっていて、配達時間の保証があるものが多い。

(参考)

クーリエ・サービスとは： 広い意味では国際宅配便と同じであるが、狭い意味ではCourier(配達人)が書類や貨物を航空手荷物として携行して配達するサービス。

インテグレーターとは： フォワーダーが行う地上の集配業務と航空会社が行う空港間の輸送を一社で統合的に行う業者。具体的には、FedEX, UPS, DHL, TNT等。

国際エクスプレスとは： 一般的には急送の意味だが、国際宅配便のことを国際エクスプレスと呼ぶことが多い。

[リンク：フェデックス動画](#)

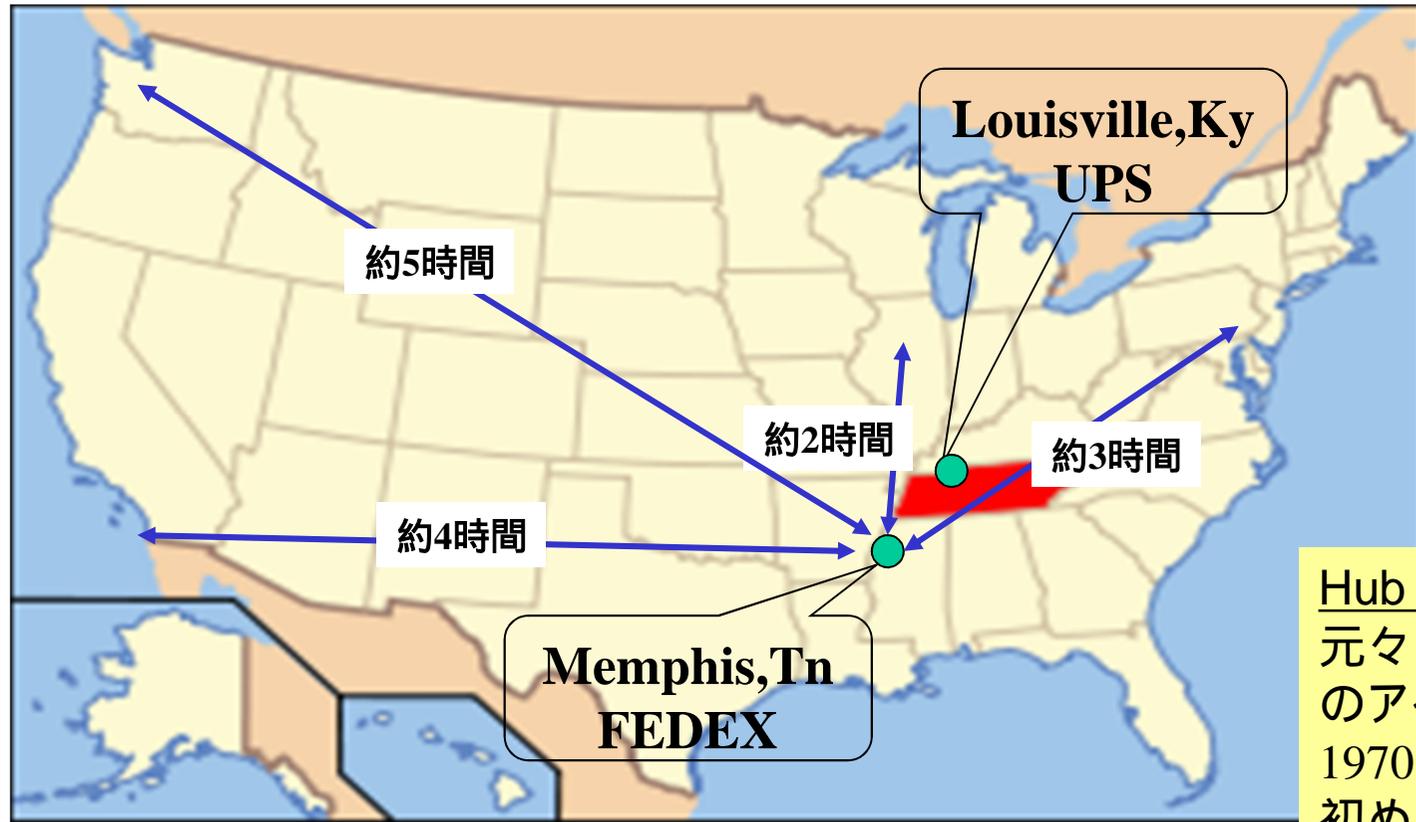
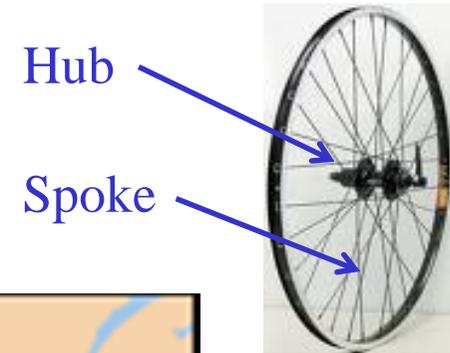
国際宅配便の特徴

対象貨物	書類(Documents)と小型貨物(Small Package)が主だが、現在では大型貨物や大口貨物も扱うようになっている。
ドアツードア 輸送	荷送人のドアで集荷し、荷受人のドアで配達するまで、一貫して輸送する。運送責任をドアツードアで負っている。
通しの運賃	ドアツードアの包括料金となっている。
時間保証	翌日配達、翌々日配達のように所要日数を約束、"Time Definite Service"を行っている。配達が遅れた場合はリファンドを行うのが一般的。
貨物位置情報	貨物の位置情報を提供したり、配達確認ができるようになっている。
商品名	所要日数や取扱いが異なる様々な商品(サービス)を提供しており、サービスの種類ごとに商品名が付けられている。
受託制限	国際宅配便では取扱いができないものがある。 例：貴金属類、動植物、危険品、遺体、信書、冷凍・冷蔵品、有価証券
迅速な通関	貨物情報を貨物到着前に把握し、事前に登録するなどして、迅速な通関を行っている。

特徴: ハブ・アンド・スポーク・システム

FedExのメインハブ Memphis, Tn
UPSのメインハブ Louisville, Ky

夕方までに出荷すると、全米どこでも翌朝に到着



Hub & Spoke Model
元々はDelta Airlines
のアイデアだったが、
1970年代にFedExが
初めて実施した。

(参考) <http://www.youtube.com/watch?v=iYzQ7JSBIGU>
<http://www.youtube.com/watch?v=VQReRnmCaqA>
<https://www.youtube.com/watch?v=xMa1vevj1kA>

インテグレーターとは

インテグレーターによる輸送 (1社でドアツードア輸送)



通常の航空貨物の輸送



UPS



FedEx

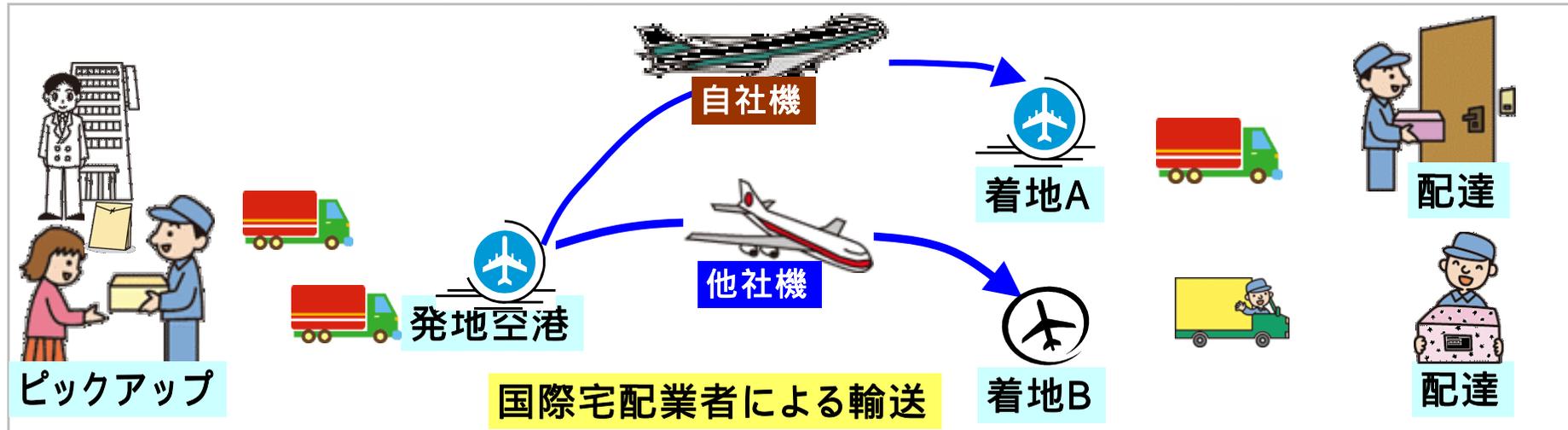


DHL



TNT

航空貨物と国際宅配便の関係



空港間の輸送： 国際宅配業者は、空港間を次のような方法で輸送している。
 自社機を利用、または、
 他の航空会社の定期便を利用、または、
 旅客手荷物を利用(オンボードクーリエ、現在は少なくなっている)

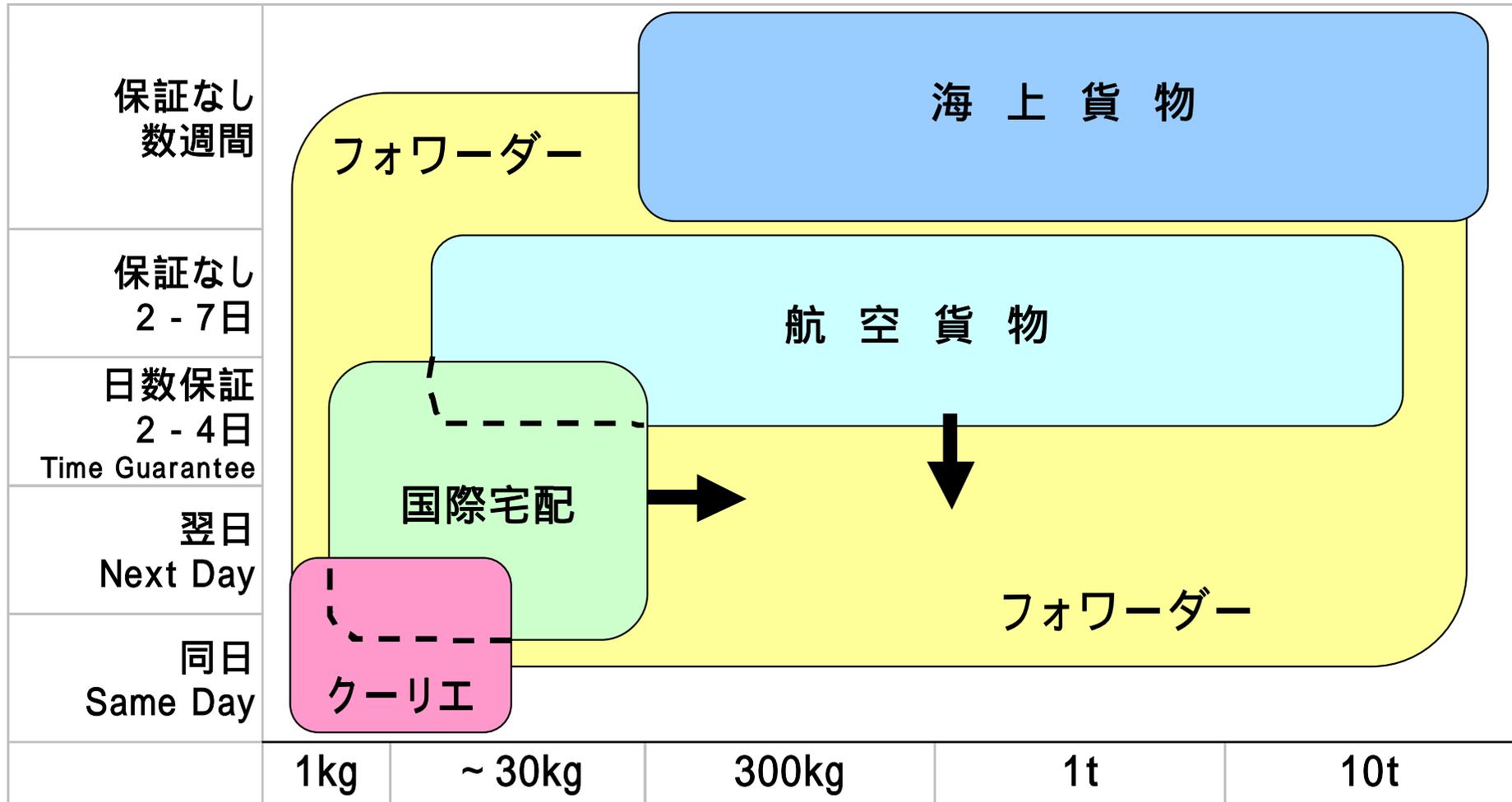
対象貨物： 国際宅配便はスモール・パッケージ・サービスとして発達してきた。

- 国際宅配便の対象貨物： 一個口、一個の重さ30kgs位まで + 書類
- 航空貨物の対象貨物： 一件の貨物の個数限定なし、一個の貨物の重量も制限なし

一般の航空貨物と国際宅配便の間で、次のように競合が起きている。

- 国際宅配便業者が一般の航空貨物も取扱うようになってきた。
- フォワーダーや航空会社が小口貨物や書類を扱うエクスプレス・サービスを始めた。

国際貨物輸送市場の住み分けと競合



UPSの歴史

1907年	ワシントン州シアトルでメッセンジャーサービスを開始
1913年	T型フォードを使って小売店への配達業務
1924年	荷扱いのためのベルトコンベアを導入
1930年	米東岸に進出
1953年	航空事業を再開
1975年	全米48州を配達サービスを開始
1981年	空輸サービスのための航空機を初めて購入
1982年	ルイビルのエアハブの操業開始
1988年	FAAから航空貨物会社として認められる
1989年	全世界にサービスを拡大
1990年	アジアへの定期便を開始
2001年	中国への直行便を開始
2002年	フィリピン・クラークのアジア域内ハブが操業を開始
2004年	ヤマト運輸との合併を解消
2008年	上海のハブを開設
2010年	深センにアジア域内ハブを開設
2014年	台北にトランス・パシフィック・ハブを開設



出所 : UPS社ホームページより筆者作成

FedExの歴史

1971年	フレデリック・スミスが会社を設立
1973年	オペレーション開始
1975年	ドロップボックス導入
1977年	規制緩和により機材を拡大
1981年	国際サービス(カナダ)を開始
1983年	収入が10億ドルを超える
1985年	欧州に定期便を開始
1988年	日本に定期便を開始
1989年	フライング・タイガーズ社を買収
1995年	フィリピンのスピックベイにハブを設ける
1998年	カリバーシステムを買収
2001年	米郵政と業務提携
2004年	キンコーズ社を24億ドルで買収
2009年	広州にアジア太平洋地区ハブを開設
2012年	シンガポールに南太平洋地区ハブを開設
2014年	関空に北太平洋地区ハブを開設
2016年	TNT Expressを買収



リンク:

http://www.youtube.com/watch?v=OfSfCv_r-aA

出所: FedEx社ホームページより筆者作成

DHL Expressの歴史

1969年	サンフランシスコで創業(Dalsey, Hillblom, Lynn)
1972年	日本、香港、シンガポール、豪でサービス開始
1974年	ロンドン事務所を開設
1978年	中東、中南米およびアフリカでもサービス開始
1979年	貨物の取扱いを開始(それまでは書類のみの取扱い)
1983年	国際ハブをシンシナティに開設
1985年	ベルギーのブラッセルにハブを開設
1986年	中国でサービスを開始
1993年	バーレーンにハブを設立
1998年	ドイツポスト(DPWN)がDHLの株主に
1999年	最新の貨物機に更新(44機のB757SFを導入)
2002年	ドイツポスト(DPWN)がDHLの全株式を取得
2003年	米エアボーンエクスプレス社を買収
2005年	エクセル社を買収
2007年	関空ゲートウェイ施設を開設
2008年	ドイツ・ライプツィヒ空港にハブを開設
2009年	米国内の宅配事業から撤退(国際は継続)
2012年	上海・浦東に北アジアハブを開設
2013年	シンシナティのグローバル・ハブを拡張
2016年	東京新木場の物流施設を大幅拡張



出所 : DHL社ホームページより筆者作成

<https://www.youtube.com/watch?v=mSGBM3v541g>

TNT Expressの歴史

1946年	オーストラリアのシドニーで設立
1978年	英企業を買収して英国に展開
1980年	英国内で翌日配達サービスを開始
1982年	英国内で同日配達サービスを開始
1986年	英国でロジスティクス子会社を立上げ
1989年	オランダ郵政が民営化される
1995年	TNTメールサービスを開始
1996年	KPN(オランダ郵便公社)に買収される
1998年	KPNからTPG(TNT Post Group)を分離設立
2005年	TNTにブランド名を統一
2006年	TNT Logisticsを売却し、ネットワークに集中化 日本郵政とTNTの合併会社設立計画が白紙に
2007年	ブラジルと中国でエクスプレス会社を買収
2011年	エクスプレス事業と郵便事業を分離・分社化
2015年	UPSとの合併交渉が白紙に
2016年	フェデックスに買収される



出所 : TNT社ホームページより筆者作成

FedExの現状

本社	テネシー州メンフィス
代表者	Frederick W. Smith Chairman, President, and CEO
創立	1971年創立 1973年 継続的業務開始
2015年売上高	475億ドル
サービス取扱国	世界220以上の国と地域
従業員数	34万人
取扱貨物量	1営業日あたり1150万個
自社運航機	657機を保有 1/
利用空港数	世界で375空港 2/
配送車両	約10万台

1/ 航空機の内訳

A300F-600R : 71機	A310-200/300F : 33機	B757-200SF : 112機	B767-300F : 21機
B777F : 25機	MD10-10/30 : 61機	MD11F : 60機	
ATR72 : 21機	ATR42 : 26機	セスナ208B : 241機	

2/ エアハブの所在地

米国： メンフィスTn、 フォートワースTx、 インディアナポリスIn、 アンカレッジAl、
 ニューアークNj、 オークランドCa
 アジア太平洋： 広州、 関空 ヨーロッパ： パリ
 中南米： マイアミFl カナダ： トロントOnt

DHL Expressの現状

本社	ドイツ ボン
株主	Deutsche Post World Networkの1部門(2002年以降)
代表者	Ken Allen
創立	1969年 創立 1972年 日本、香港、シンガポール、豪でサービス開始
2015年度売上高	137億ユーロ
サービス取扱国	世界220以上の国と地域
従業員数	34万人
取扱件数	15億個以上
航空機数	420機
ハブ数	36ヶ所
配送車両	約76,200台
1/ Express以外の部門 DHL Global Forwarding, Freight DHL Supply Chain	
2/ 主要エアハブ 香港、 ライプツィヒ、 シンシナティOh	

TNT Expressの現状

本社	アムステルダム
代表者	Tex Gunning CEO
創立	1946年 豪州でThomas Nationwide Transport設立 1984年 日本法人設立 1996年 オランダ郵政(1994年に民営化されたRoyal PTT Nederland)がTNTを買収
2015年度売上高	69億ユーロ
サービス取扱国	世界200カ国以上
従業員数	5万9千人
取扱件数	2億3千万件(2010年)
航空機数	54機 (TNT Airways)
デポ数	2,300ヶ所
配送車両	約26,800台

TNT ExpressはTNT NVの1部門だったが、2011年5月にTNT NVから分離し、アムステルダム証券取引所に上場。TNT NVはPostNLへと会社名を変えた。TNT Expressは貨物航空会社TNT Airwaysを保有している。2016年TNT ExpressはFedexに買収された。事業の統合に向けて準備中。

国際宅配便業者の動向

	グローバル	アジア	日本
FedEx	Caliber Systemを買収(98年) Kinko'sを買収(04年)、 メキシコ国内サービスを開始 (08年)、B777Fを追加発注(09 年)、TNTを買収(16年)	広州空港にアジア太平洋地区 ハブを開設(09年2月) シンガポールに南太平洋地区 ハブを開設(12年)	日本通運と提携 新砂に大規模ターミナルを開設 (07年) 関空に北太平洋地区ハブを開 設(12年)
UPS	ドイツ・ケルンのハブを倍に拡 大(06年) ルイビルのハブを拡大(10年)	上海浦東空港にターミナルを開 設(07年) 中国深セン空港にアジアハブを 移転(10年)	ヤマト運輸と提携解消(04年) 鈴与と提携 UPS Supply Chain Solutions, Japan
DHL	DHL Express USAは米国国 内サービスから撤退し、国際エ クスプレスのみに特化(09年1 月)	香港空港にアジアハブを開設 (04年)	佐川急便と提携('96) 郵船ロジと提携(01年) 関空ゲートウェイ施設を開設 (07年)、新木場の物流施設を 拡張(16年)
TNT	ロジスティクス事業を売却(06 年)、フォワーダー事業を売却 してネットワーク事業に特化 (07年)、FedExによる買収 (16年)	ハノイにオペレーションセンター を開設(08年) 中国・東南アジア間の定期ト ラック輸送サービス開始(08年)	近鉄エクスプレスと提携(99年) 日本郵政と提携解消(06年)